

令和4年11月8日	
資料提供	
担当	和歌山県立医科大学 【取材に関すること】事務局広報室 森口室長・岩本準主事（内線5731） 【内容に関すること】麻酔科学講座 川股教授（内線5066）
電話	073-447-2300（大学代表）

和歌山県立医科大学オンライン記者発表

痛風・リウマチから外傷・手術およびがんまで “持続する強い痛み”を生み出す原因物質 Tmem45b を世界で初めて発見！

この度、和歌山県立医科大学からの記者発表を以下のとおり実施いたしますので、報道関係の皆様方のご参加賜りますようお願い申し上げます。

日時及び場所

日時：令和4年11月15日（火） 15：00～（約20分＋質疑）

場所：Web上（ZOOM）にてオンライン開催

発表者

本学医学部 麻酔科学講座 教授 川股 知之（かわまた ともゆき）
助教 谷奥 匡（たにおく ただし）

発表の概要

この度、全く新たな鎮痛薬の標的物質を発見した。痛風・リウマチ・手術・外傷およびがんでは、“動いただけで痛い”、“触っただけで痛い”などの強い痛みが持続、または慢性化して、患者さんの生活の質を低下させる。この痛みは、一般的な鎮痛薬では軽減せず、しばしば、モルヒネなどの医療用麻薬が必要となる。しかしながら、医療用麻薬は脳に作用し、鎮痛だけでなく、呼吸抑制や依存など様々な重篤な副作用を引き起こす。この度、持続する強い痛みの原因物質として Tmem45b を世界で初めて同定した。Tmem45b は末梢神経に特異的に発現し、脳にはほとんど発現しない。Tmem45b を標的とした治療はこれらの副作用がないことが予想される。Tmem45b をターゲットとした新薬開発は痛み治療の Game Changer となる可能性がある。

参加申込方法

事前にメールにて「件名：11/15 オンライン記者発表 参加申込」「本文：報道機関名、氏名」を記載のうえ、以下のメールアドレスまで送信ください。（発表5分前まで受付）参加に必要な URL を返信いたします。

メールアドレス： kouhou@wakayama-med.ac.jp